

# 法令を踏まえた、 成長戦略について考える

産業廃棄物処理業経営塾OB会  
中部ブロックワークショップ

## ■ 本日の発表（ロードマップ）

前提の共有から、具体的な成長戦略、そして結論への流れ

### 01 前提：目線合わせと定義

誰目線で、何を「成長」と定義するか？

### 02 「法令を踏まえる」とは

中部ブロックにおける解釈

### 03 業界の強み

「止めない・記録する・つないで動かす」

### 04 成長戦略の柱：動静脈連携・復元力

### 05 現場のリアル

見えにくい部分がボトルネックになる

### 06 結論：価値創出へのシナリオ

復元力の仕組みが「信頼」を強化し、パートナー化を経て「価値」につながる

## ■ 前提：目線合わせと定義

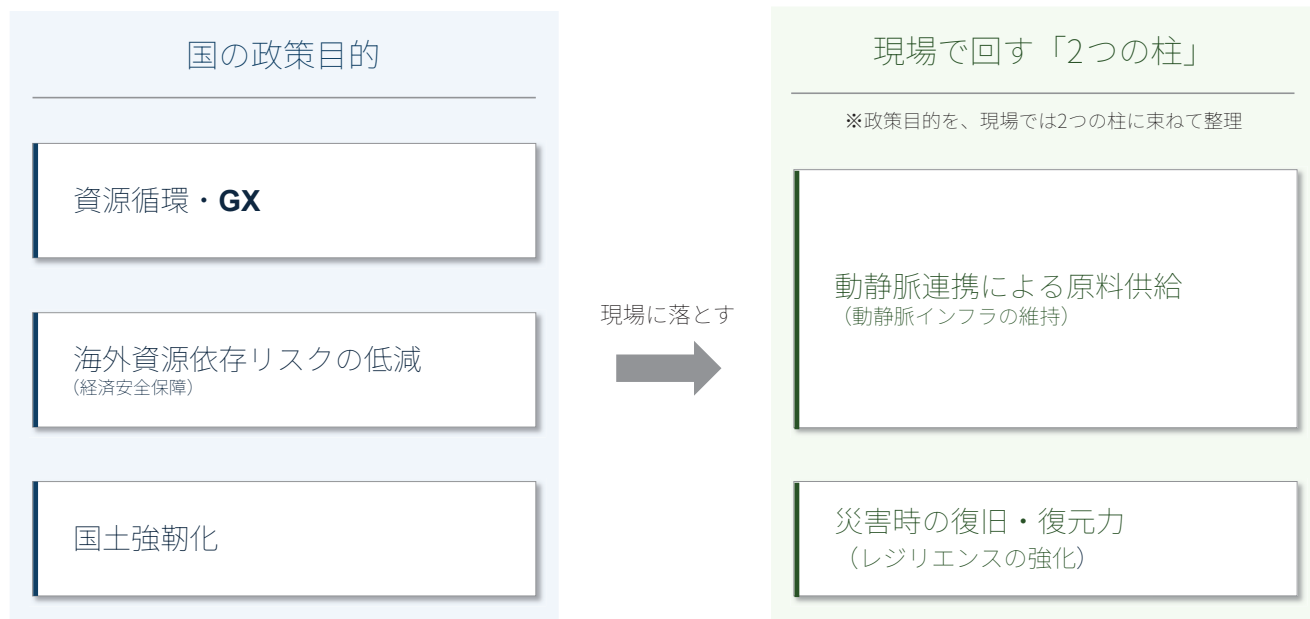
誰の視点で、どんな成長を目指し、どう進めるのか。

視点 Perspective	産業廃棄物処理業界（静脈産業）の目線
成長 Growth	「現場で回る形」の実績を積み上げ、 <u>扱える価値・領域を広げること</u>
手法 Approach	法令対応を、抽象論ではなく「現場で回る形」で具現化する
貢献 Contribution	机上では見えにくい <b>ボトルネック</b> を、現場の実務経験から言語化して共有できる

3

## ■ 「法令を踏まえる」とは

単なる法令遵守ではなく、国の政策目的を「現場で回る形」に具体化すること



4

## 業界の強み：「止まらない社会」を支える3つの力

廃棄物処理は社会インフラであり、“止まらない前提”で回っている

### 1. 止めずに安全に回す

#### 【安定稼働の力】

24時間365日、滞留させず、適正かつ安全に処理を継続する力



### 2. 記録で残す

#### 【説明責任の力】

マニフェスト等で「いつ・誰が・どう処理したか」をたどれる形で残し、信頼を支える力



### 3. つないで動かす

#### 【段取り・調整の力】

通常はもちろん、トラブルや災害時も、関係者をつなぎ、段取りを組んで、最後まで動かす力



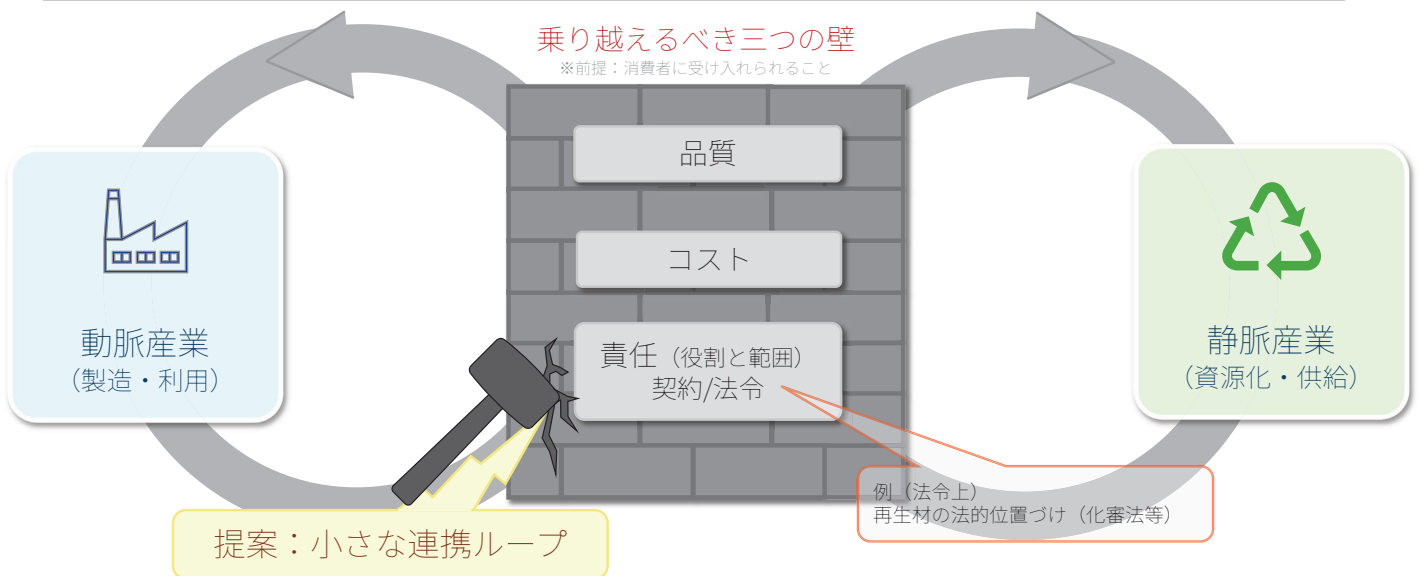
#### 位置づけ

私たちは単なる処理業者ではなく、[適正処理と資源循環を支える社会インフラ](#)として信頼を積み上げ、関係者と「共に動けるパートナー」になり得る。

5

## 成長戦略の柱①動静脈連携（資源循環×GX）

壁を突破するために、用途を絞った「小さな連携ループ」から実績をつくる



#### アプローチ

品質・コスト・責任の合意点を先に置き、用途を絞って「確実に回る実績」を作る  
➤ 実績が積み上がるほど、双方の成長上限を押し上げる

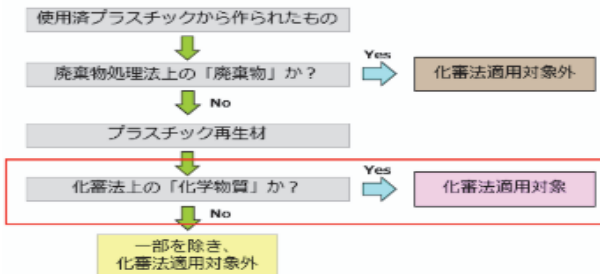
6

## 責任（法令）の例：再生材の法的位置づけ

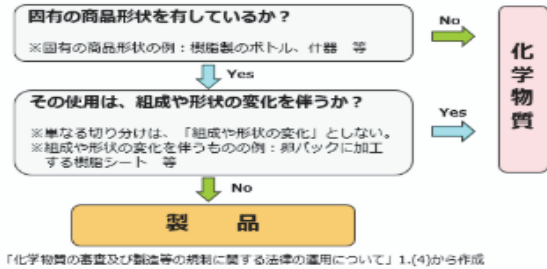
### プラスチック再生材の化審法における適用について

※化審法（化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律）

#### 【プラスチック再生材の判断フロー】



#### 【化審法において「製品」とみなすものの判断フロー】



- ・化審法上の化学物質に該当する場合は、その規制区分に応じて、化審法の規制が適用される。
- ・一方、化審法上の製品に該当する場合は、化審法の政令で指定されている製品（輸入禁止製品等）に該当する場合を除き、化審法の規制の対象とはならない。

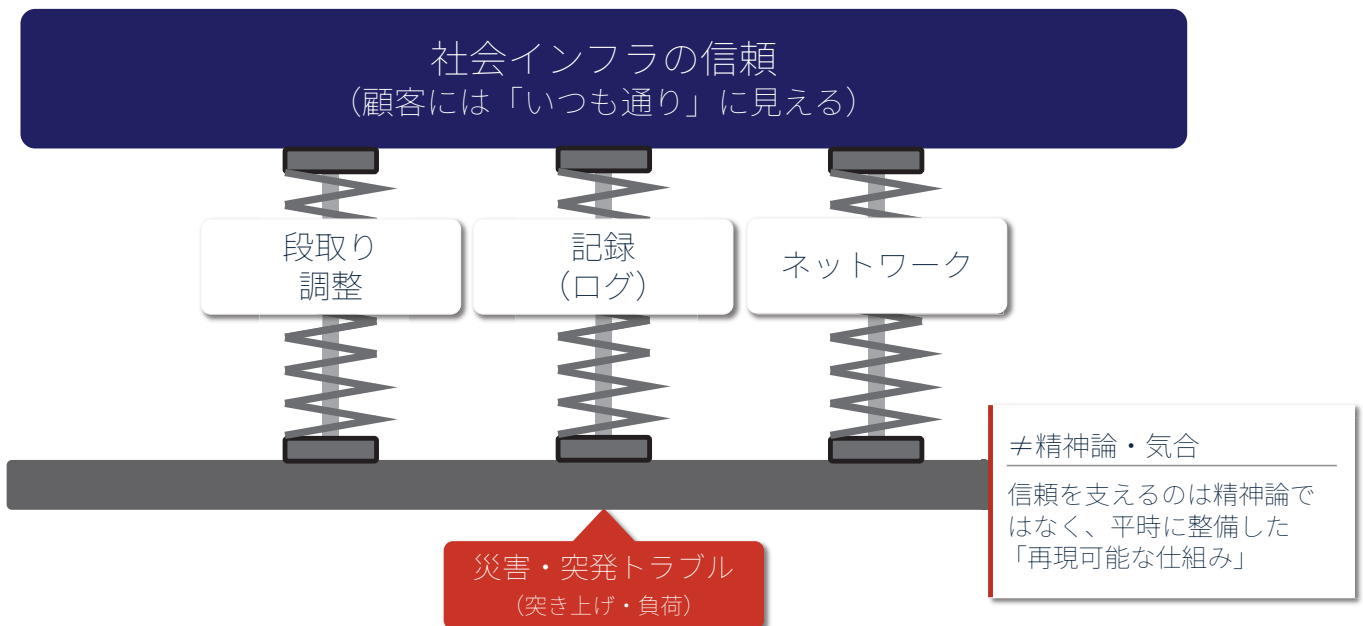
出典：経済産業省「制度構築ワーキンググループでの議論より」

再生材は、用途・品質・含有物で「法令上の扱い」が変わる  
 整理 → その結果、必要な確認と記録も変わる  
 → 連携では、動静脈それぞれの法令目線も含めて「役割と範囲」を先に揃える

7

## 成長戦略の柱②復元力（レジリエンス）が支える信頼

平時の働きが、有事の衝撃を吸収し、影響を抑える

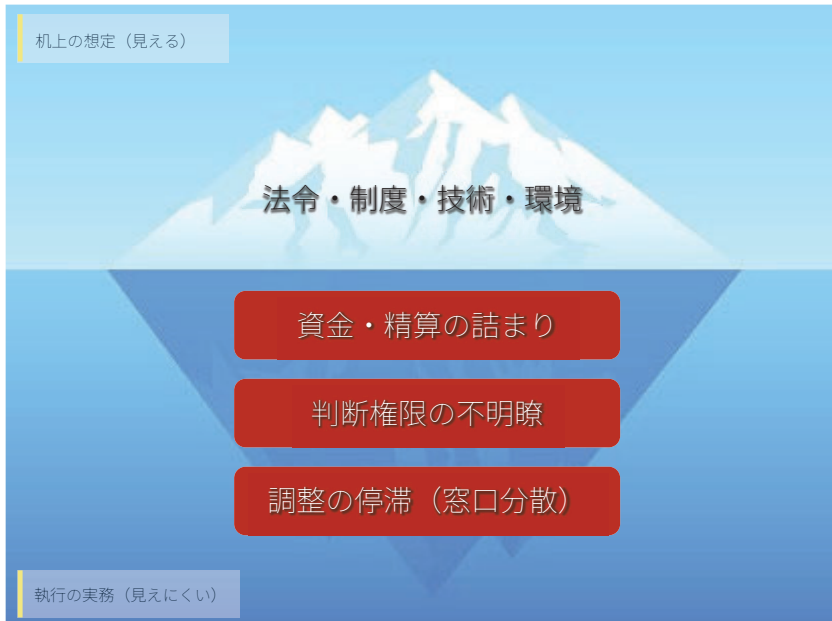


8

## 現場のリアル：机上では見えにくい「執行」の壁

制度が整っていても現場は執行で止まる

※執行=お金が動く/決裁が下りる/手続きが進む



### 能登半島地震における実態

資金 (予算⇄支払いのギャップ)



予算措置の報道があっても、実務の支払いが即時に動かず、現場対応側で借入で立替して支払いをつないだ。

権限・法



公費解体は、登記・境界の不明確さや代執行手続きに時間を要し、「進まぬ復興」と騒がれた。現場としては早急に取り組みたかった。

調整



産業資源循環協会が受託者となるスキームや可視化された管理システムを導入しても、精算・支払いはすぐに回らず。

短期ピーク処理を前提にするなら、県外搬出などの事前協議を“非常時モード”で簡素化する設計が必要。

9

## 現場のリアル：机上では見えにくい「執行」の壁

課題は見た。では、何ができるのか？

### 💡 解決へのアプローチ

#### 振り返りとアップデートの「場」

執行の課題は、机上では見えにくい。現場で初めて見える。

有事の経験を平時に落とし込み、手順・役割・連絡体制を更新し続けることが重要。課題は現場だけではない。だからこそ、関係省庁・有識者と共に仕組みづくりを進めたい。

更新するもの (例)

- ①精算ルール (資金)
- ②判断者・判断範囲 (権限)
- ③窓口・連絡系統 (調整)

→上記が生きて、次の「復旧」を加速

10

## 結論：価値創出へのシナリオ

政策目的を「現場で回る形」に落とし、価値創出につなげる



11

## 本日のまとめ

### ✓ 価値創出のカギ

上下関係ではなく「役割分担」。  
用途を絞った「小さな連携ループ」から始め、  
確実に回る実績を積み上げる。  
その積み重ねが、扱える領域と価値を広げていく。

### ✓ 現場のリアル

机上では見えない「執行の壁」（資金・権限・調整）が存在する。  
「振り返りとアップデートの場」を通じて、  
手順・役割・連絡体制を更新し続ける。

### 中部ブロックからのメッセージ

「政策目的を現場で回る形に落としこみ、  
共に動けるパートナーとして貢献したい」

12

## ■ 中部ブロックメンバー

<p>安全と安心を、カタチにする。 株式会社 三共</p>	<p>株式会社 就生環境保全</p>	<p>株式会社 ヤマゼン YAMAZEN Co., Ltd.</p>	<p>ACTREE</p>	<p>MEIKI CLEANER</p>	<p>MIDAC</p>	<p>新英エコライフ株式会社 Shin-Ei Group</p>	<p>株式会社 大興金属</p>
<p>Toshin 株式会社 東伸サービス</p>	<p>SNK TECHNO エスエヌケーテクノ株式会社</p>	<p>環境開発株式会社</p>	<p>KAYAMA</p>	<p>ケーイーシーグループ</p>	<p>環境デジタルソリューション</p>	<p>人・マチ・みらい Yamato 株式会社 ヤマト金属</p>	<p>リサイクル&amp;エコロジー 株式会社 大興金属</p>
<p>豊田ケミカルエンジニアリング株式会社 Clean Forever</p>	<p>株式会社 ERCエコ</p>	<p>Revive</p>	<p>丸両自動車運送株式会社</p>	<p>株式会社 寿美屋</p>	<p>Hashimoto</p>	<p>MINAMI ミナミ金属株式会社</p>	<p>Green</p>
<p>近畿環境保全株式会社</p>	<p>未来に、愛を。 TOSMAC:i GO TO SMART CLEAN INNOVATION</p>	<p>クリーンライフ株式会社</p>	<p>株式会社 エコ・プランニング</p>	<p>UENOTEX</p>	<p>株式会社 JEMS</p>	<p>新英エコライフ株式会社 Shin-Ei Group</p>	<p>株式会社 大興金属</p>
<p>PLANT SERVICE</p>	<p>ECONOS 株式会社 オカワエコノス</p>	<p>株式会社 クリーンスペースニッポウ</p>	<p>有限会社 DAIICHI ダイイチ企業</p>	<p>ECO frontier</p>	<p>Daiwa 大和エンタープライズ 株式会社</p>	<p>オオノ開発</p>	<p>上昇運輸株式会社 JOHSHO GROUP</p>
<p>株式会社 ジャパンクリーンサービス</p>	<p>IKC co.,ltd.</p>	<p>SHINGAKI</p>	<p>株式会社 家村商店</p>	<p>青木環境事業株式会社</p>	<p>株式会社 リョーシヨ</p>	<p>アースレポート株式会社</p>	<p>HOUSEI</p>
<p>MITAKA GROUP 人と地球を大切に</p>	<p>富山環境整備</p>	<p>本ワークショップにご協力いただいた皆さまに御礼申し上げます！</p>					

ご清聴ありがとうございました

13

## ■ 参考資料

経済産業省

「制度構築ワーキンググループでの議論を踏まえ、化審法におけるプラスチック再生材の取扱い」

[https://www.meti.go.jp/policy/chemical\\_management/kasinhou/information/recycled\\_plastics.html](https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/kasinhou/information/recycled_plastics.html)